

光明寺

本願寺派 横浜市栄区上郷町

光明寺由緒

鎌倉七太子の1軀を伝える光明寺は、相州鎌倉郡山ノ内庄本郷上之村門見ヶ谷（現横浜市栄区上郷町）にあり、梅沢山仙福院と号す。往古は聖徳太子の寵臣秦河勝の草創である同郷小菅ヶ谷出立川仙福寺（現本郷台駅の辺）の遺蹟である。

当初は法相宗。その後、天台宗。安貞年中、親鸞聖人、北条修理亮時氏の願により『一切経』校合の折、当寺の前身である仙福寺第52世了恵は、その列に預かり親鸞聖人の御弟子となり、法名を「了心」（第1世）と改め真宗の開基となる。当寺に伝わっていた親鸞聖人自刻と伝えられている鎌倉七太子の1軀は、現在、残念ながら諸事情により、会津の寺院へと流失してしまったようである。



光明寺

住職の話によれば、この地域に太子信仰があったと考えられ、太子像を安置する太子堂に民衆が集まっている時に、親鸞聖人は、そこにご本尊を安置し、その場で教化をしていたのではないかとわれ、また、本尊の脇には太子像を安置してお勤めをしていたと考えられると言われた。